

自己評価票

- 自己評価は全部で101項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	23
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	8
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	101

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明


評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホームうすい
(ユニット名)	
所在地 (県・市町村名)	新潟県 新潟市 南区
記入者名 (管理者)	渡辺 美弥子
記入日	平成 21 年 5 月 28 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)
 (項目5, 7, 8, 9, 14, 15は評価重点項目です)

取り組んでいきたい項目



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	○	(事情があり中止していたが)地域の回覧板での広報誌を再開し、グループホーム、認知症への理解を得られるよう取り組んでいきたい。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○	今後も気軽に立ち寄っていただけるよう、イベント等を企画しさらなる関係作りのきっかけとしたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	<p>認知症や介護についての情報の発信やご利用者が小学生、中学生に教えることのできる機会を設けていきたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		
18-2	<p>○マニュアルの整備</p> <p>サービス水準確保のための各種マニュアルが整備され、職員に周知されている。また、マニュアルの見直しが適宜行われている。</p>	○	<p>重度化、看取りも視野に入れ、夜間の対応についてマニュアル化し、体制を強化したい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人研修室があり、プリセプター研修、法人内の新人研修から中堅、リーダー研修、職種別研修等段階に応じて必要な研修が整備されている。また資格取得のための研修や外部研修等にも参加している。また、毎月GH内研修(事業所内研修)を行っている。</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他のGHと交流の機会を持ち、情報交換している。また、地域の施設のネットワークがあり、さらなる情報交換、関係構築の機会となっている。</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>希望休や有休、特別休暇など積極的に取れるようになっている。また、今年度はリフレッシュ休暇を職員全員でとった。法人には親睦会があり、職員の集まりや旅行、福利厚生がある。</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>法人でチャレンジシートがあり、自らの目標を明確にする機会を作っている。また、法人研修室等で各種勉強会、研修を開いている。</p>	
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>事前面接の段階からお気持ちやご要望など聞き取りさせていただいている。利用に際してはご家族から協力いただきご利用者のダメージを最小限にできるよう努めている。センター方式のシートも活用している。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>事前面接の段階から、お気持ちやご要望など聞き取りさせていただいている。ご本人の前では言いづらいことがあることもあるため、ご家族のみからお話を聞く機会をもっている。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	現在利用中のサービスやご家族の状況等も考慮し、必要なサービスを検討している。入居判定委員会を開催し左記も含め検討している。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ダメージを少なくできるよう、新生活スタート、という取り組みを行っている。利用に際してはご利用者が受けるダメージをご家族に説明し、協力いただける範囲での協力をお願いしている。(事前見学、歓迎会、安心して利用していただくことなど)		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	寄り添うケアを第一に共に過ごす大切な人として今の気持ちに共感し、つちかかってこられたこと、年を重ねてから知っていることを勉強させていただき、活躍できる場、役割を担っていただいている。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご本人の健康状態、日常の様子、職員が感じている喜び、発見等をお伝えし、一緒に喜んだり、驚いたり、ご家族からはご本人の歴史をきかせていただいたり、時には一緒に悩んだり、様々な感情を共にさせていただいている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご本人の状態が変わっても、ご家族がお手伝いできること、などをお伝えし、一緒にケアに関わらせていただいている。また、認知症についての受容のお手伝いをさせていただいている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族やご友人、近所の方などに働きかけを行い、関係が保たれるよう支援している。自宅への一時帰宅、地域の敬老会、昼食会などへの参加できるようお手伝いさせていただいている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ご利用者同士の関係性やその日の気分などを見極め、間に入り、交流を図っている。外出や外食、買い物など楽しみごとにも共にしながら関係ができるよう支援している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居後もいつでも連絡いただけるようお願いしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	面接の段階でご本人、ご家族へお聞きし、センター方式も活用しながら把握に努めている。ご本人の言葉、仕草、表情から傾向を把握しながらケアに努めている。希望によって、手紙の代筆、帰宅など対応している。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	面接の段階からセンター方式も活用しながら情報の把握に努めている。また、面会時にご家族から教えていただいて新たな情報をいただくこともある。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個別ケアマニュアル、リスクチェック表を活用し、様子観察し生活を把握し、職員で共有している。生活記録もこまめに記録し、状態の把握、情報の共有に努めている。職員間でのコミュニケーション、情報の共有を大切にしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人(必要時にさりげない聞き取りで)ご家族、ご友人、ご兄弟、近所の方などお聞きした情報をもとにカンファレンスを行い、作成している。ケアプランはご家族へ説明同意をいただいている。(遠方の方は郵送させていただいている。)		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	基本的に3ヶ月に1回見直しを行い、プランを作成している。モニタリングは月に1回行っている。入院や急激な状態変化があった場合は情報収集、状態把握し、アセスメントしプランを作成している。センター方式を使用している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子観察、ご家族からの情報など生活記録に記入、ケアチェック表に記載し、申し送りや勤務前の確認で共有しプランにも生かされている。提案ノートも活用している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご利用者の状況に合わせて業務内容も変更、1日の予定も変更し柔軟に対応している。デイサービスとの交流、外出、外食、一時帰宅支援、買い物も可能になっている。また、要介護度にかかわらず、重度化しても業務内容を柔軟にすることによって対応している。ご家族の面会、宿泊も柔軟に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員の方から地域の老人会の集まりへの参加のお誘いをいただいたり、学校行事へもお誘いいただき参加させていただいている。消防訓練は消防署職員立会っていただいている。法人内にはボランティアコーディネーターがおり、芸能披露等のボランティアが来所くださっている。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他事業所のケアマネジャー、グループホームの職員、地域包括、民生委員の方など、様々な方々と情報交換しながら支援を行っている。		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議を通じて相談しアドバイスをいただける関係ができています。会議以外でも気軽に相談できる関係ができています。		
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご希望により、入居前からのかかりつけ医を継続していただいている。定期受診し健康状態の把握をしていただき維持を行っている。必要時、往診していただく方もおられる。	○	往診のない医療機関が主治医のご利用者は重度化、看取りの際の対応を含めて検討が必要となっている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	法人で個人情報に関する誓約書をとっている。個人情報に関する研修も行っている。言葉かけや対応方法はご利用者のその時々状態に合わせて対応している。また、言葉かけは職員間で注意あっている。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している	ご利用者お一人おひとりの状態に合わせて文書にしてお渡ししたり、声や表情でも伝わるように工夫している。決めていただく、選んでいただくことを大切に支援している。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	可能な限り、ご利用者優先で業務を行っている。日課は決めず、自由に過ごしていただく中で外出や趣味活動などしたいこと、希望を大切にしている。その日の予定変更等も職員の工夫で柔軟に変更している。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	習慣にしている身支度の仕方など継続していただけるようお手伝いしている。理美容院も希望にそって対応している。洋服選びも職員とともに楽しんで選んでおられる方もいる。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューをご利用者が分かる場所に記入し、食事を楽しまにさせていただいたり、調理もご利用者の中で分担があり役割意識を持ってされている。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	好みや習慣を把握し、行事などの際にはお酒を楽しんでいただくこともある。ご希望があれば、グループホームの中でも楽しんでいただけるよう工夫して対応している。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>		
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>		
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族の都合や要望等も考慮、調整しながら手紙の代筆や電話など希望時、必要時対応している。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	お茶を飲んでゆっくりしていただいたり、次回の訪問につなげていただけるよう声をかけさせていただいたり、居心地のよい環境作りに努めている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員全員でマニュアルを作成し共通認識している。	○	現在ご家族の強いご希望でベット片側2点柵を使用しているご利用者がおられる。安全を確保しながら、なるべくしなくてもよい方向で工夫していきたい。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	上記マニュアルに基づきケアを行っている。ご利用者はもちろん、職員にも弊害があることを認識している。さりげない所在確認を行い、安全の確保と不自由さを感じない対応に努めている。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーに配慮し、さりげない所在確認、様子観察を行いながら支援している。夜間は睡眠の妨げにならないように1時間に1回は安否確認を行っている。キッチンの壁に3箇所窓を開ける工事を行い、さりげない見守りができるようにした。見守り体制の整備を行い活用している。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	取り扱いに注意が必要な物は目に付きにくい所に置いている。洗剤等をご利用者に使っていただく際は職員見守りのもとしようしていただいている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	マニュアルを作成し、定期的に確認している。また研修や消防訓練も実施している。事故については事故報告書のほか、個別のケアマニュアル、リスクチェック表を活用し過去の事故についても記載している。事故報告書の書式を変更、再発防止策についての検討の方法も変更し実施している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルを作成し確認している。職員全員が毎年1回消防署の救急法を受講している。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	運営推進会議で地域へ協力の呼びかけを行っている。消防訓練は定期的実施している。	○	災害に備え、食料の備蓄、必要物品の用意をしたい。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	事故が起きた場合、ご家族へ事故の状況、ご利用者の状態等報告し対応策についても同意をいただいた上で実施している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタルチェックを行い、お一人おひとりの平均値や健康状態を把握している。また、体調不良時は必要時測定させていただいている。その結果を主治医にみている。細かな表情、様子等の変化も見逃さないよう努め、早期の段階での受診に繋げている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の処方内容はファイルして保管している。複数受診先があるご利用者は変更があった都度、情報提供している。薬の変更が合った場合はこまめな様子観察を行い、その様子も医師へ情報提供している。服薬の方法についてもお一人おひとりの状態に合わせて対応している。誤薬のない様、確認も共通認識で行っている。服薬の方法等も状態に合わせて対応		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘、高齢者の身体面に関する勉強会を行っている。便秘の方に対しては、食べ物、飲み物等を工夫したり、下剤等の排便コントロールや水分摂取、腹部マッサージ、などを行っている。なるべくトイレに座っていただき自然排便ができるよう取り組んでいる。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	歯磨き、義歯洗浄、お茶で口腔内を流す、口腔清拭など、ご利用者の状態によって対応している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>法人内の管理栄養士からお一人おひとりの身長、体重、活動量などを考慮しアドバイスもらっている。また、とろみ食等についてもアドバイスいただいている。お一人おひとりの好みや食べたくないような出し方などを把握し支援している。水分摂取が少ない方にはチェック表を作成しケアしている。</p>	
78	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>マニュアルを作成し取り組んでいる。</p>	
79	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>まな板、ふきん、おしぼりなどハイター消毒を行っている。食材の保管場所も季節に応じて変更し管理している。手洗いについては特に注意を払って行っている。職員の検便検査(〇-157、サルモネラ、赤痢)は3か月に1回実施している。キッチン拭き取り検査も実施し結果について職員で話し合い、改善策を検討している。</p>	
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>			
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>木の看板や花壇、畑など親しみをもってもらえるよう取り組んでいる。日中、玄関は開いており、入りやすいようにしている。手すりも設置し、冬には消雪パイプや除雪を行い、安全面にも配慮している。</p>	
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節や気温、気候に合わせて自然の風を取り入れたり、照明も調整しながら自然の光を取り入れている。生花を飾って季節を感じていただけるよう取り組んでいる。また、居間から見える場所に畑と花壇を移し楽しんでいただいている。居間を増やし、ご利用者の使いやすいように居間の工事を行い、過ごしやすいスペース作りができた。</p>	
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>こたつ、座椅子、ソファー、食卓、事務室、廊下など思い思いに過ごしていただける場所を用意している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

V. サービスの成果に関する項目

項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいいの
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいいの
		<input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある
		<input type="radio"/> ②数日に1回程度ある
		<input type="radio"/> ③たまにある
		<input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいいが
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいいが
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいいが
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいいが
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいいが
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと
		<input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと
		<input type="radio"/> ④ほとんどできていない

項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。			
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="checkbox"/>	①ほぼ毎日のように		
		<input type="checkbox"/>	②数日に1回程度		
		<input type="checkbox"/>	③たまに		
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどない		
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり梁まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="checkbox"/>	①大いに増えている		
		<input type="checkbox"/>	②少しずつ増えている		
		<input type="checkbox"/>	③あまり増えていない		
		<input type="checkbox"/>	④全くない		
98	職員は、生き活きと働いている	<input type="checkbox"/>	①ほぼ全ての職員が		
			②職員の2/3くらいが		
			③職員の1/3くらいが		
			④ほとんどいない		
99	職員から見ても、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者が		
			②利用者の2/3くらいが		
			③利用者の1/3くらいが		
			④ほとんどいない		
100	職員から見ても、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/>	①ほぼ全ての家族等が		
			②家族等の2/3くらいが		
			③家族等の1/3くらいが		
			④ほとんどできていない		

【特にかを入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所としてかを入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・ご利用者の要望に合わせて柔軟に業務を工夫し変更している。
- ・ご利用者の不安に配慮し常に寄り添うケアをし、笑顔で関わり家庭的であたたかく居心地のよい環境作りに努めている。
- ・かぎをかけないケアの実践について職員共通理解のもと取り組んでいる。
- ・重度化、ターミナルケアに取り組んでいる。
- ・ケアマネジメント、リスキューン表があり、ご利用者の安心した生活に役立っている。
- ・職員間でコミュニケーションが図れており、情報の共有、観察したことなどの意見交換が活発にされている。
- ・ご利用者の希望にはできるだけだけ対応し、今すぐできることのように探している。
- ・ご利用者の力を信じることができることを探すケアを行っている。
- ・毎月広報誌を作成しご家族へ送らせていただき、日常の様子を知っていただく機会を作っている。